

大阪府立千里青雲高等学校 第2回学校協議会

- 日 時 平成 28 年 11 月 9 日(水) 15:30～17:10
- 出席者 委員長(学識経験者)、学識経験者(高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局(校長、教頭、事務長、首席、教育グループ長、進路指導グループ
長)
- 内 容 1 校長挨拶
2 委員長挨拶
3 学校報告(学校経営計画、第2学年、教育グループ、教務グループ、
進路指導グループ、生徒指導グループ、共生推進教室、広報)
*学校協議会への意見書の提出
平成 28 年 5 月 13 日より平成 28 年 11 月 8 日まで なし
4 意見交換
5 校長謝辞
6 諸連絡
-

<意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

1 修学旅行について

○修学旅行での民泊の目的は？農作業などはあるのか？

⇒現地でしかできない体験をしてほしいと考えている。農作業もあると聞いているが、
家庭により異なる。

2 カリキュラムについて

○カリキュラムの検討について方向性は？

⇒将来構想委員会で検討している。地域のニーズに合うよう、4年生大学進学を叶える
カリキュラムを考えて、進学実績の向上につなげたい。また、カリキュラムのスリム
化によって、教員の超過勤務緩和も考えていきたい。

3 進路について

○3年の進路状況について、昨年と比べてどうか。

⇒昨年と大きくは変わらない。専門学校は夏に決定、それ以外は公募制推薦を受ける生
徒が多いが、一般入試までチャレンジするよう指導している。

4 遅刻件数・朝読について

○遅刻件数が減っているが、具体的な活動など理由があるのか。

⇒1・2年生は8時20分から朝読があり、時間に遅れると学年から指導があるので、
始業遅刻が減っている。3年生も今年は遅刻件数が減っており、1・2年生の影響を
と思われる。

○朝読で読む本は決められているのか。

⇒漫画以外で文字のあるものであればよいことになっている。生徒は各自で読みたい本を準備している。

○始業前の取組だが、勤務時間はどのように対応しているのか。

⇒希望によって勤務時間の変更もできるようにしている。

5 授業アンケートについて

○アンケートの生徒の記述内容には、教員に対して辛辣なものも含まれているのでは。

⇒実施前に、受け取った教員が前向きに改善できるような書き方を放送で生徒に呼びかけており、生徒は考えて記述している。

○アンケートをとることはよいこと。ただ、生徒から意見をもらうだけの「やりっ放し」ではなく、生徒たちの意見に対して教員の反応があったり授業の改善があると、生徒も教員の良いところを見つけようとするので、先生方もぜひ受け止めてほしい。

○親からの意見ではなく、生徒自身が自分の言葉で先生に授業について伝えられることがいいと思う。

○教員側でも、独自に授業改善のアンケートを実施するなど、積極的な取り組みが見られ、すばらしいと思う。

6 地域連携・ボランティアについて

○地域を巻き込んで、ボランティア同好会ができたのはよいこと。

○ボランティアは「やるべき」「やってもらう」ではなく楽しむことがベースである。学校から地域への働きかけも大切だが、受ける側となる地域の方もどのようにボランティアを活かすのかを考えて、地域としても育っていかなければならない。

⇒ボランティアは相手も自分も喜ぶもの。東北ボランティアに行った生徒は、その成果を他の生徒に伝えたいと思っている。地域との連携では、今年度は地元のこども園の子どもたちと協働して本校でサツマイモを栽培した。収穫後行われたこども園での「おいもパーティー」に本校教員も複数名招待していただいた。とても楽しい交流を持つことができ、「喜び合う」取り組みとなった。

7 生徒のモチベーションを高めるには

○教員から生徒への働きかけよりも、生徒どうしの方がさらにモチベーションが上がる。

例えば、One Day Tripに参加した生徒が、教室で報告をしたり、ネイティブの方へ手紙を書いたりするなど。

○先輩が後輩へ勉強の仕方を教えるのもよい。先輩の言葉はよく心に入っていきやすい。

8 教員の長時間勤務の縮減に向けて

○ノー残業デーを設定し、管理職が率先して早く帰るのもよい方法ではないか。

○朝読2クラスを1人で担当する、複数のクラブを広域的に見る、といったスリム化が図れないか。

○積極的に年休（半日休を含む）をとってもらう日を決めるとよいのではないか。